

松山理事長が「ジャパン・トラベル・マンス」概要発表 (観光庁、文化庁、スポーツ庁 協賛記者会見) にて記者会見を行いました

JNTO 松山理事長は、2016年9月1日(木)に東海大学交友会館で開催された「ジャパン・トラベル・マンス」概要発表(観光庁、文化庁、スポーツ庁 協賛記者会見)に出席し、記者会見を行いました。記者会見ご登壇者は、日本旅行業協会・田川博己会長、日本政府観光局・松山良一理事長、日本観光振興協会・山口範雄会長、国土交通省観光庁・田村明比古長官、文部科学省文化庁・宮田亮平長官、文部科学省スポーツ庁・仙台光仁参事官の6名で、官民連携プロジェクト第1弾として「ジャパン・トラベル・マンス」を始動させ、日本の文化・スポーツ・トラベルの情報を総合的に発信していくことを発表しました。

松山理事長は、2016年9月21日(水)から開催する「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート」(以下 VJTM)の概要について会見を行い、2020年の訪日観光客数4000万人、消費額8兆円の目標に対し、オールジャパン連携の強化が鍵であると述べ、その中でも VJTM は官民の連携を図りながら行う重要な商談会であると強調しました。今年の VJTM の特色は、①地方への誘客と消費拡大、②東北・九州の復興支援、③欧米豪市場への取り組み強化、の3点であることを上げ、それらの実現に向けた国内外からの商談会参加者の募集状況等を発表しました。さらに、ツーリズム EXPO ジャパンとの同時開催により、海外バイヤー向けの「ジャパン・ナイト」の実施や「ツーリズム EXPO ブースへの見学会」等の連携を通じて、訪日旅行、海外旅行、日本国内旅行のキーパーソンが一同に会する機会を最大限に活かしたいとも述べました。最後に、今後 VJTM が世界に冠する旅の祭典となることを期待し、官民一丸となって観光産業を日本の基幹産業に育てていきたいと総括しました。



記者会見を行う松山理事長



記者会見にご登壇された皆様